



ほけんだより



夏の暑さもおさまり、秋らしくなってきました。さわやかに吹く風が秋の深まりを知らせてくれます。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもあるので、手洗いやうがい、衣服の調節などをして風邪を予防しましょう。



●全園児健康診断のお知らせ

当日は可能な限り出席をお願いします。

気になることがある場合は事前に看護師もしくは担任までお知らせください。

- ◆ 10月9日(火) 12:20～
対象:ひよこ・ぺんぎん
とらぐみ
- ◆ 10月16日(火) 12:20～
対象:あひる・ねこ
らいおんぐみ

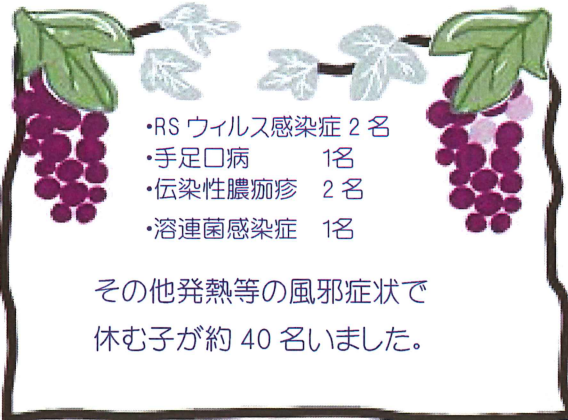
★★ …秋の健康作りのために…★★

あと少しで運動会を迎えます。秋は行楽のシーズン。元気いっぱい、運動会やおでかけの機会を楽しむために、風邪がはやりやすいこれからの季節を元気に乗り越えていくためにも、体の状態も季節の変化に合わせて上手に整えていきたいものですね。

- お休みの日はゆっくり体を休めましょう。
- 皮膚の乾燥予防のために保湿を(保湿クリーム等)
- 秋の野菜や果物を採ってビタミン補給を
- のどや鼻の調子がおかしいと思ったら早めに受診をするようにしましょう。



～ 9月の感染症 ～

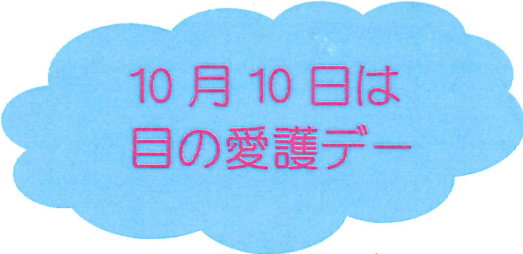


- ・RS ウィルス感染症 2名
- ・手足口病 1名
- ・伝染性膿痂疹 2名
- ・溶連菌感染症 1名

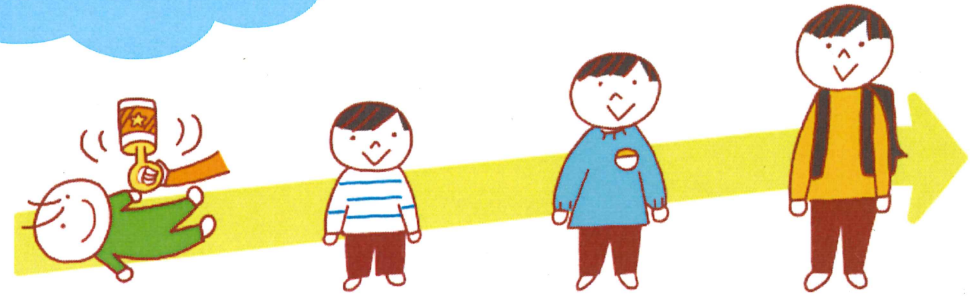
その他発熱等の風邪症状で休む子が約40名いました。

●視力測定のお知らせ

- ◆ねこぐみ・10月30日(火)
 - ◆とらぐみ・10月26日(金)
 - ◆らいおんぐみ・10月29日(月)
- 基本的に晴れた日に行います。天候や行事等により変更することがございますのでご了承ください。



子どもの目は6・7歳になるまで成長し続けます



生後1～4ヶ月	3歳	4～6歳	6・7歳
ものが見える	平均視力が約0.8に*	視力が1.0以上に	目の機能が完成
生後1・2カ月は動くものがわかる程度、3・4カ月で見えるように。	発育と共に目も成長。平均視力は1歳で約0.3、2歳で約0.6。	視力1.0以上：4歳で75%、5歳で85%、6歳でほぼ100%。	7歳以降、成長期に眼球が長くなり、近視が進む場合があります。

(参天製薬 hp より引用:<http://www.santen.co.jp/ja/healthcare/eye/eyecare/child/>)

子どもの目は、ものを見ることを繰り返して発達します。発達をする過程で何らかの問題が生じ、十分発達することができなければ視力が伸びません。**3歳は目の機能の発達を知る大切な時期です。目の異常を早期発見・早期治療が行えるために、市の3歳児健診(眼科)を受けましょう!**



- ・テレビや絵本に近づいて見る
- ・明るい戸外でまぶしがる
- ・目を細めてみる
- ・見る時に首を曲げたり頭を傾けたりする。
- ・上目遣いにも物を見る
- ・目つきが悪い、目が寄っている。

⇒ このような症状が見られると斜視や弱視の可能性があります。まずは眼科を受診するようにしましょう。



親も子どももメディア機器接触時間のコントロールが大事です。親子の会話や体験を共有する時間が奪われてしまいます。

ムズかる赤ちゃんに、子育てアプリの画面で応えることは、赤ちゃんの育ちをゆがめる可能性があります。

このような場面はありませんか?

○視力の発達に悪影響が…
乳幼児期は視力が発達する重要な時期です。テレビやDVD、特にスマホ、タブレットなどの小さな平面画面を見る時間が長いと視力の発達を妨げます。日本の子どもたちの視力は、テレビやゲーム機の普及のあと急速に悪化しています。家の中にばかりいないで外で自然と触れ合いましょう。

(日本小児科医会 HP より引用:<http://www.jpa-web.org/blog/2015/04/30/37/>)